

第4回 練馬区立上石神井第二保育園運營業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

平成25年6月30日（日）午前9時30分～午後3時50分

上石神井小学校

出席者：学識経験者2名、有識者2名、区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）

1 応募事業者プレゼンテーション

運營業務委託に応募した4事業者によるプレゼンテーションを、それぞれ40分（事業者のアピール20分・質疑応答20分）行った。

なお、上石神井第二保育園の保護者28名の参観があった。

《父母の会からの質問事項に対する回答》

質問1 本委託の1年前は引継ぎ期間として、4月から、園長、主任、各クラスリーダー候補の方に引継ぎに入っていただきます。保育士不足と言われていますが、園長候補以外の7名は、どのように確保されますか。また、法人が運営している保育園からの異動は考えていますか。

事業者A 既存4園に常勤職員が約90名いる。その中から条件に合う職員を異動させる。

事業者B 園長、主任とクラスリーダーのうち、3名ほどは既存園からの異動を考えている。そのほかのクラス担任の半分は、経験者を採用する。

事業者C 既存園からの異動予定者は調理、看護師を含めて12名を考えている。既存園には71名の職員がいる。受託が決まってから準備に入れば無理はないと判断している。

事業者D 園長、主任、クラスリーダー、看護師は法人内での異動を考えている。

質問2 引継ぎ期間中の1月から2月にかけて、残りの職員が決まり、引継ぎに入っていただきます。年度途中での採用は、より厳しいと思いますが、どの時期に、どのように職員を確保しますか。また、法人が運営している保育園からの異動は考えていますか。

事業者A 受託することが決まったら、26年度から職員を採用していきたい。

事業者B 提案に従って配置したいと考えている。秋から7名程度の採用を考えている。

事業者C 当法人は余裕のある保育を目指しているため、職員を多めに採用している。産休育休等もとりにやすい状況にある。受託が決まったらすぐに職員確

保のための準備をする。

事業者D 各既存園では職員を加配しているので、異動も6名以上できると考えている。他にはハローワークや派遣紹介会社を通して採用する。

質問3 委託と同時に区職員から事業者の職員に入れ替わりますが、子どもたちや園運営の安定のため、現在、上石神井第二保育園で働いている朝夕の非常勤職員や臨時職員の方々に、引き続き、働いてもらえればと考えています。このことについて、どのようにお考えですか。また、雇用する場合の条件面はどうされますか。

事業者A 当法人では非常勤職員の規定があり、職種、経験、勤務時間によって時間給の定めがある。雇用継続を希望される方には、基本的に現在の条件と合わせたい。これを機に、常勤職員になりたい非常勤職員は、できるだけ常勤職員として採用したい。

事業者B 現在上石神井第二保育園で勤務している非常勤職員には、引き続き勤務していただきたい。条件面は、現状を引き継ぎたい。

事業者C 現在勤務している方には是非継続していただきたい。既存園は全員が常勤職員だが、上石神井第二保育園の現状のやり方（非常勤職員）にする。子どもも保護者の方も安心されると思う。条件面は、同程度にしたい。

事業者D 保育士資格有りの方は今実際に勤務されている形式をとるか、希望があれば正規職員になっていただきたい。保育士資格無しの方も希望があれば全員そのまま非常勤職員として残っていただきたい。子どもや保護者も顔なじみでよく知っているので、残っていただけるのは信頼関係を築くのに有り難い。待遇面は、現状より悪くなることはないと考えている。

質問4 保護者や父母会との連携については、どのように考えていますか。

事業者A 子どもの最善の利益を考えると家庭との連携は大事である。保護者の声に耳を傾け対話をし、意向を受けとめていく。子どもの育ちや様子を確認しながら、保育の意図や取り組みを丁寧に伝え、理解していただけるように努めたい。父母会と協力体制を築いていこうと思う。当法人には、おとしから父母会はないが、協力的な関係にある。保護者が希望する日に、保育参観・参加を受け入れ、保育内容を知っていただくことに努めている。

事業者B 保護者と連絡を密にとり意見をよく伺い、ニーズを把握して対応していく。園のこともご理解いただくよう情報を発信して、コミュニケーションを密にとっていきたい。現状を継承し、保護者と相談しながら進めたい。

事業者C 運営委員会では保護者と区と三者で協議をし、方向づけを細やかにして

いく。必要に応じて連携の場を持ち、保護者に承認をいただきながら進めたい。

事業者D 現状の上石神井第二保育園の保育内容を引き継ぐのが原則だろうと思っている。ただ、人も代わり、年齢構成が変わるかもしれないので、保育内容が変わる部分がないとは言えない。保護者会、運営委員会で保護者や区と事前協議しながら進めていく。保護者会は、保育園の中でやっていただき、保育の協力は精一杯やる。

質問5 引継ぎにあたり、大切にしたいことは何ですか。

事業者A 子どもの生活の保障である。上石神井第二保育園の保育を継承して、子どもや保護者が困らないような保育園をつくっていくことを大事にした

い。

事業者B 一番重要なことは子どもの処遇を忠実に現状維持し、下げることがあってはならないと考える。

事業者C 子どもが安心できる場であることと、保護者との信頼関係を大切にしていきたい。その中で、子どもが成長できたら良い。子どもと保護者とともに保育士も成長できればと思う。

事業者D 一番大事なことは、子どもたちや保護者と、現在上石神井第二保育園に勤務する職員と、どう信頼関係を築けるかということだと思う。

2 園長候補者等ヒアリング

運營業務委託に応募した4事業者に対するヒアリングを、それぞれ30分（園長候補者のアピール10分・質疑応答20分）行った。